

第3回 松戸市公共施設再編整備推進審議会 議事録

日 時 平成28年2月23日(火) 9:00~11:00
場 所 松戸市役所新館5階 市民サロン
出席者 【委員】柳澤会長、藤村副会長、小川委員、池澤委員、原田委員※欠席
【事務局】5人
【傍聴席】3人

次 第

開 会

(1) 議事

- 議題1 前回の議事の確認
- 議題2 公共施設再編とコミュニティプランニング
- 議題3 東松戸まちづくり用地の利活用について
- 議題4 次年度の審議会の進め方について

閉 会

【議 事】

(1) 前回の議事の確認をした。

(2) 公共施設再編とコミュニティプランニングについて

事務局より、「松戸市推計人口（H21）」の地区別推計及び同地区別の施設更新費用に基づき、地区類型化について説明

<主な意見>

- 更新費用が突出している施設については10年前から議論・協議を開始するべきである。一方で、計画には、すべてを決めきらない柔軟性が必要であり、公共施設のみで解決しようとはせず、民間施設と連携も視野に入れるべき。空き家の状況なども調べるとよいのではないか。
- 小金原については、高齢化率が高い、駅からも遠く、後期高齢者の生活圏を構築する必要がある。まちづくり部局と福祉部局が連携しなければ課題解決は難しい。小金原を考える事は松戸全体にとって、1つの試金石になる。
- 公民連携と言われているなかで、大きな投資を呼び込む施策と小さな投資を呼び込む施策それぞれが必要。民間事業者としては、鉄道事業者もしくは介護事業者と連携できるとよい。
- 公から民、民から公、双方向に連携、組織づくりをしていく必要がある。

(3) 東松戸まちづくり用地の利活用について

事務局より、まちづくり用地の利活用にあたって、東部地区での施設再編案の提示が求められること、公設公営施設から民設も視野に入れた施設計画へという前提条件の修正があったこと、官学連携事業の業務範囲案について説明

<主な意見>

- 地域としっかりコミュニケーションを取って進めてほしい。
- 地域が前向きな、プラスになるようにまちづくりにつながるよう進めなければいけない。
- 市民ワークショップだけでなく事業者ワークショップもできればよい。

(4) 次年度の審議会の進め方について

<主な意見>

- これまでの議論の通り、全体計画からモデル地区、東松戸65街区などの個別プロジェクトまで検討していければよい。

以上